

# 平成24年度 酒田市役所地球温暖化対策報告書

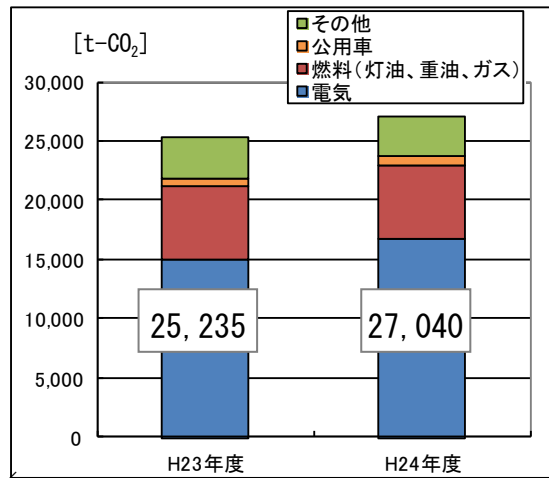
## ■市役所の温室効果ガス排出量

平成24年度は、震災の発生とそれに伴う原発事故の影響による電力不足への対策のため、前年度に引き続き、節電や省エネの取組みが行われました。しかし前年度に比べて電力需給状況がわずかに好転し、国の節電要請では数値目標も設定されていなかったことから、電気使用量が増加し、その結果、温室効果ガス排出量も7.2%増加しました。

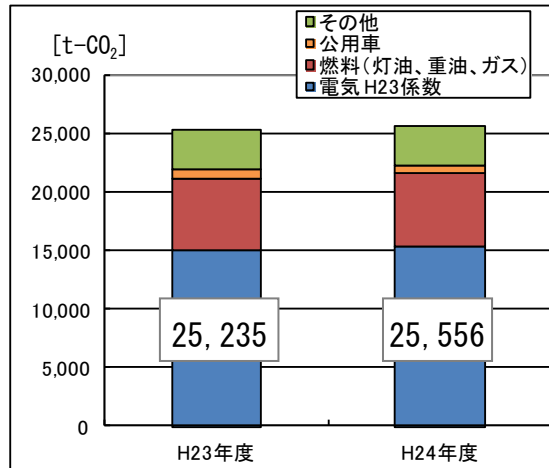
なお、平成23年度の電気使用に係る排出係数(※1)に固定した場合、前年度と比較して1.3%増加となりました。

年度	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年比
平成23	25,235	
平成24	27,040	7.2%
	25,556 (電気使用に係る排出係数を平成23年度の値に固定した場合)	1.3%

## 市役所の事務事業からの温室効果ガス排出量の推移



## 電気使用に係る排出係数を平成23年度の値に固定した場合

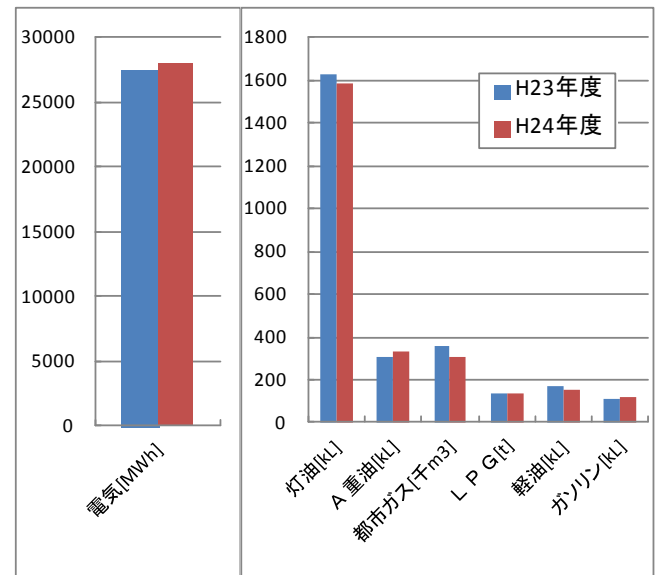


## ■市役所の燃料使用量

平成24年度の市役所の燃料使用量は、前年度比で灯油や都市ガスなど減少した燃料はありましたが、電気が2%、A重油が7%程増加しました。

平成24年度の気候は前年度と比べて、8、9月の気温が高かったことや真冬日が6日増加したことによる冷暖房費にかかる燃料使用量の増加が原因と考えられます。また前年度は、震災の影響による電力不足のため、例年以上に節電対策を実施したことも影響しています。

## 市役所の燃料使用量の推移 (平成23, 24年度)

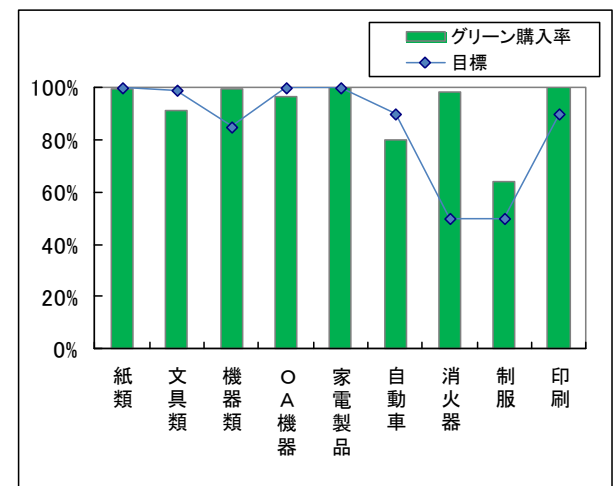


## ■平成24年度のグリーン購入実績

国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、物品の購入数を基に計算したグリーン購入率で99.5%となっております。

## 平成24年度 グリーン購入率



(※1) 各電力会社とその年に火力発電所等で石油や石炭などを燃やした時に排出した1kWh当たりの二酸化炭素量より算出した係数(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)。火力発電の割合が大きいと係数は大きくなる。平成23年度より平成24年度の係数が大きい。